

キイロネクイハムシ

Macrolea japona

兵庫県：絶滅

環境省：絶滅(EX)

種の概要

体長4.2mm程度。頭部及び体腹面は黒色で、前胸背板、上翅は黄褐色と黒色の縦縞模様。上翅端は1対の突起を有する。低地の池に生息し、水生植物を食べる。成虫は春季に見られる。



写真提供：大阪市立自然史博物館

国内分布

本州、九州、沖縄

県内分布記録

西宮市、宝塚市、丹波市、猪名川町、豊岡市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○		○		

特記事項

1950年頃に宝塚市の池でたくさん採集されたが、県内ではそれ以降の記録、情報がない。全国的にも記録が途絶えて久しいため、絶滅したと考えられていたが、2022年に琵琶湖で再発見され、話題となった。

保護上の留意点

池沼環境の保全